

(様式 3)

女性農業者活躍促進計画

実施主体名	一般社団法人地域商社ビレッジプライド邑南
取組	(2) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保
構成員数	21人(うち 女性の人数13人) (令和3年5月時点)

1 事業実施方針

<p>●事業実施の背景</p> <p>当法人の本社がある邑南町日和地区は、肥沃な土壌と開けた地形、水資源が豊富なことから、農業が盛んな地域であり、稲作・野菜・果樹・酪農・肉用牛生産・菌床栽培及びその加工等が行われている。しかしながら、近年過疎化、高齢化が進み、(2015年国勢調査による高齢化率は邑南町43.1% 日和地区44.8%)また、第一次産業人口は年々減少傾向にある。なかでも邑南町の繁殖和牛農家数は2013年30戸であったが2021年時点で20戸となり(島根県西部農林水産振興センター調べ)、担い手不足が喫緊の課題となっている。</p> <p>一方で地域には、やりがいのある仕事をしながら収入を得たいという希望を持っている60代70代の元気な女性が存在するほか、県立矢上高校(畜産等農業分野を学ぶ産業技術科がある)の生徒の中にはゆくゆくは邑南町で就業したい希望者もある。また、都市住民の田舎暮らしへの関心も高まり、農業生産活動に興味を持つ女性と交流している農家も存在している。</p> <p>こうしたことから、法人として農業に取り組み、女性が参画しやすい環境を整え、女性が職業として農業を選択できるようイメージを変えていくことで、地域の産業を維持しつつ、女性が活躍できる場を創出できると考える。</p> <p>●これまでの取組</p> <p>当法人では平成29年設立時から、農業者の人材育成として「農の講座」を開催。また、地域おこし協力隊を「耕すシェフ」として受け入れ、飲食店での研修に併せ農業生産現場での研修を行っており、日和地区の酪農家、菌床栽培農家、米の生産農家でも研修を実施してきた。また、平成29年から、和牛繁殖農家の委託を受け肉用牛の生産管理の一部を行っており、地域おこし協力隊の畜産部門の研修や、見学者やインターンの受け入れを行ってきている。</p> <p>●これからの取組の方向</p> <p>今年度には、総務省の地域おこし協力隊インターンシップ制度を活用し、都市住民の農業体験や地元県立高校の卒業生の農業体験を受け入れ、邑南町に滞在しながら畜産を研修し技術を習得する機会を創出、後継者として育成していきたいと考えている。都市住民の地方への移住やUターンに関心が高まっているなかで、畜産の担い手として、また、女性ならではの視点を生かして、畜産に支えられた邑南町特産の石見和牛肉等の食肉加工品を町内外にPRし、販路拡大を図るなど、女性でも農業を職業として選択の視野に入れることができるような体制をつくる。</p> <p>また、当法人においては、畜産事業を農業というだけではなく、引きこもり等の社会的困窮者の就業支援の場所としてもとらえている。社会福祉活動と併せ畜産現場に関わる被支援者及び女性職員等の働きやすい環境を整えることが必要である。</p> <p>この具体的な方法として、本事業を活用し、今年3月末に取得した民家を「邑南サテライト・スタジオ」として、休憩スペース・更衣室・プライバシーを確保できる宿泊部屋を備えた、生産から</p>

販売までを一貫して行い町民の所得の向上や農業後継者の育成に寄与する農業振興拠点施設として、農業に携わる女性を呼び込み、雇用につなげていきたい。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性農業者活躍に向けた実施体制

この事業を行うにあたり、以下のような体制で実施する。
「邑南サテライト・スタジオ」での事業運営：一般社団法人地域商社ビレッジプライド邑南

事業	内容	連携機関
都市住民の農業体験	インターンシッププログラムによる受入	邑南町、アグリサポート邑南 矢上高校と地域未来をつくる会 (コンソーシアム)
地域おこし協力隊の人材育成	繁殖和牛の飼育研修による技術等の習得、就農・起業支援	島根県西部農林水産振興センター 邑南町、JA 島根おおち
繁殖和牛の飼育管理	飼育指導	楽農会22、JA 島根おおち
社会的困窮者の就業支援	就業計画の作成	邑南町社会福祉協議会
キャリア教育・社会教育	小・中・高生の牧場見学・職業体験・地域課題解決学習支援	邑南町教育委員会 町内小中学校・高校
商品開発・販路拡大	ネットショップ・ふるさと納税返礼品開発・商品PR	邑南町 A コープいわみ、JA 島根おおち

一社) 地域商社ビレッジプライド邑南

```

graph TD
    A[統括責任者] --- B[施設管理担当者]
    A --- C[連携機関]
    A <--> |連絡調整| C
    A --- D[インターンシップ・キャリア教育担当者]
    A --- E[地域おこし協力隊相談・起業支援担当者]
    A --- F[商品開発及び販路開拓担当者]
    A --- G[繁殖和牛管理及び社会的困窮者就業支援担当者]
    
```

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組)		
1) 農の講座を開催 年間8回開催	1) 男性10名、女性9名 (2019年度:2020年度は コロナ禍により未実施)	
2) 地域おこし協力隊の農業研修 月4日実施	2) 男性1名、女性2名 (2020年度)	
3) インターンの受入 繁殖和牛農家をはじめ町内生産現場等を 訪問	3) 男性3名、女性8名 (2020年度)	
4) 見学者の受入 繁殖和牛農家をはじめ町内生産現場等を 訪問	4) 16名(2020年度)	
(今後の取組)		
1) 農の講座の継続 年間8回開催 座学・土壌分析等・実地研修	1) 年間20名(目標) 男性15名、女性5名	
2) 地域おこし協力隊の農業研修 月4日実施 町内生産者を訪問し、技術等を学ぶ 共同で商品開発を行う	2) 年間5名(目標) 男性3名、女性2名	
3) 女性農業者活躍・農産物の情報発信 一社) 地域商社ビレッジプライド邑南 HP 等で活動の状況を紹介 邑南町の生産現場の情報発信	3) 女性の活動状況を HP 等で発信	
4) 短期インターン事業 おためし地域おこし協力隊、地域おこし協力 隊インターンシップ、学生インターンの受入 ・邑南町・アグリサポートおおなん・矢上 高校コンソーシアム等関係機関とのイ ンターンプログラム構築 ・上記関係機関を通じて募集告知 対象: 都市住民、邑南町出身者、矢上 高校卒業生 ・特に畜産部門のインターンの募集	4) ・プログラム開発 (2021 10月) ・募集告知 (2022 4月~) ・おためし 2泊3日10名(目標) 男性5、女性5名 ・短期 2週間~3か月(目標) 男性	

<ul style="list-style-type: none"> ・ 邑南サテライト・スタジオでの宿泊（女性）及びの見学の受入 	3名、女性2名	
5) 石見和牛オンラインショップ開設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 希少価値のある特産品として、生産のこだわりなどを発信する ・ 邑南町産の野菜などと組み合わせた新たな商品開発及び販売 	5) 30名（目標） 6) 石見和牛肉を広くPRし、農産物としての魅力を発信する。	
6) 農福連携事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 邑南町社会福祉協議会と連携し、引きこもりなどの社会的困窮者の就業支援として畜産現場において多様な人材の雇用を目指す。 ハローワークと連携した職員募集 	7) 毎年2～3名（目標） うち女性1名	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組)		
1) 地域おこし協力隊卒業後の女性就農者のフォロー	1) 随時面談実施(2020年度)	
2) 地域おこし協力隊と地域の生産者、消費者との生産品を使ったイベント開催	2) 月1回(2019年度:2020年度は未開催)	
3) インターン受入後の情報交換	3) 随時移住支援の説明等	
(今後の取組)		
1) 地域おこし協力隊卒業後の女性就農者のフォローの継続	1) 年2回の面談(目標)	
2) 地域おこし協力隊の農業研修の継続 地域の生産者と連携した商品開発・イベントの開催 生産者とのネットワークの構築 就農・起業支援	2) 畜産に関わる地域おこし女性協力隊1名(目標) 和牛肉を使った商品の開発 年1商品(目標) 生産者交流会開催 年	

<p>3) 女性農業者活躍の情報発信 一社) 地域商社ビレッジプライド邑南 HP 等で活動の状況を紹介 邑南町の生産現場の情報発信</p> <p>4) 短期インターン事業 「邑南サテライト・スタジオ」を拠点にした 研修 地域おこし協力隊、女性就農者との交流 事業参加者へ随時邑南町の情報提供</p> <p>5) 石見和牛肉の販路拡大 オンラインショップ・ふるさと納税事業と連 携した PR 及び販路の拡大</p> <p>5) 農福連携事業の推進 社会的困窮者の自立支援</p> <p>6) 拠点施設の維持管理と PR 畜産・福祉部門の体験・生産・PR を行う農 業拠点施設「邑南サテライト・スタジオ」の 管理運営と町内外に向けての活動の PR</p>	<p>2回(目標) 起業セミナー年6回(目 標)</p> <p>3) 女性が活躍できる和牛 の生産現場として、活動 状況、快適な職場(研修) 環境を発信</p> <p>4) 短期受入 2週間~3か月(目標)女性 2名 リピーターの獲得1名(目 標)</p> <p>5) 新商品提案 年2商品 (目標)</p> <p>5) 毎年1人(目標)</p> <p>6) 活動 PR 随時</p>	
---	--	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1) 子どもや同居の高齢者の事情などで休みの取りやすい仕組みづくり</p> <p>2) 社会保険労務士によるハラスメント研修の実施(対象:職員、地域おこし協力隊)</p> <p>(今後の取組)</p> <p>・上記活動の継続実施</p> <p>1) 邑南町内の小・中・高等学校が行う授業等への参画</p>	<p>1) サポート体制の構築による負担の軽減 利用者1人 (2020年度)</p> <p>2) 1回 参加者 男性9人 女性12人(2020年度)</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の「ふるさと学習」の牧場見学 ・中学生の「職場体験」の場所として畜産の作業体験を実施 ・県立高校での「地域の課題解決型学習」への課題提案 	年2回（学年別）（目標） 年1回（目標） 年1回（目標）	
2) 県立高校の職業学習や卒業後の進路選択に関する指導への参画とインターンプログラムの共同開発	毎年（目標）	
3) 女性の視点を生かした石見和牛の商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発勉強会の開催 	1商品開発（目標） 年3回（目標）	
4) 邑南町ファンをつくる販売戦略の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・町内事業者との学習会開催 	年2回（目標）	

（注）農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

（2）働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
2021年8月～	1) 整備内容 今年3月末に取得した民家を「邑南サテライト・スタジオ」として、休憩スペース・更衣室・プライバシーを確保できる仮眠部屋を備えた、女性が利用しやすい農業振興拠点施設として整備 <ul style="list-style-type: none"> ・休憩室の整備 「邑南サテライト・スタジオ」のはなれ(蔵)1階に女性専用トイレとシャワー室、ミニキッチン、ミーティングテーブルと椅子を備える。 ・更衣室の整備 同はなれ(蔵)2階を更衣室とする。ロッカーを備える。 ・仮眠部屋の整備 プライバシーを守ることのできる仮眠部屋にする。 1階の和室：床・建具を板張りにし、シェードを設置する。 ・休憩室、更衣室及び仮眠部屋にエアコンを整備す 	

	<p>る。</p> <p>別添図面のとおり</p> <p>2) 利用者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おためし地域おこし協力隊 2泊 女性5名 ・地域おこし協力隊インターン 2週間～3か月 女性2名 ・畜産事業及び福祉事業担当職員 女性2名 ・被就業支援者 女性1名 ・石見和牛商品梱包・発送担当 女性2名 ・商品開発会議開催・就農相談等 女性2名 	
--	---	--

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(2)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	7 人
(新規確保女性農業者の内訳) 自営農業就業者 人、雇用就農者 3人、アルバイト・ボランティア等 4人	
<ul style="list-style-type: none"> ・雇用就農者3人 (畜産及び生活困窮者就業支援 2名、都市住民の体験施設管理運営者 1名) ・アルバイト・ボランティア等4人、 (被就業支援者 1名、地域おこし協力隊 1名、地域おこし協力隊インターン2名) 	

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事の女性とします。農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。